

インフルエンザワクチン広報

第2号 2017.10.07 出版

文責 ICC わたなべゆうき

Q. インフルエンザワクチンとは？

皆さんご存じだと思いますが、インフルエンザは大きく分けるとA型、B型、C型（C型は軽症で済むために特に話題になりません）があります。加えて、A型、B型インフルエンザウイルスの中でも、その特徴から、さらに何十～百種類以上にも分類されます（亜型と呼ばれます）。研究者たちはその中から、今季流行するであろうインフルエンザウイルスを夏頃までに予測し、それからワクチンを作ります。

話しは変わりますが、従来のワクチンはA型2種類、B型1種類の全3種に対するワクチンでしたが、2015年度の冬季からA型2種類、B型2種類の全4種にパワーアップしました。ただ、残念なことに、ワクチンの価格もパワーアップしてしまいました。

Q. 予防接種すれば発症しないの？

予防接種をすることによって、免疫（専門的にいうと液性免疫と言い、標的を速やかに見つけて殺傷する能力のことです）を得られます。幼少のお子さまは一度のワクチンでは免疫が得られないために2回に分けてワクチン接種をすることになります。

注意して欲しいことは、免疫がつけば絶対に発症しないということではないということ。たとえば、大量にウイルスが居る所（インフルエンザ感染者の唾液・鼻水、人が大勢集まる所）に、マスクなしで赴いたり、帰宅後に手洗い・うがいをしなかつたりすれば予防接種で得られた免疫を以てしてもインフルエンザが発症してしまいます（ありがたいことに、そのように発症しても軽症で済むと知られています）。予防接種をしたからと言って安心せずに、毎日必ず感染予防を怠げずに続けましょう。よろしく願いいたします。

インフルエンザ4コマ劇場

～Vol.2 ウイルスバスター～



大切な家族を守るため、大好きな友だちを守るため
感染予防・予防接種はみんなでしましょ☆